

karimoku

カリモクグループ 様



生産スケジュールを有効活用！ RFIDを利用した工場見える化

生産スケジュールを導入しただけで満足していませんか？

スケジュールを立案したのであれば、実際の作業実績と比較して振り返りPDCAサイクルを回さなければ生産性の向上にはつながりません。カリモク家具の製造工場である「東浦カリモク」様では、RFIDかんばんを利用して着手完了時間、不良数を取ることで、生産実績の見える化を行いました。もともと導入していた生産スケジュール(呼称：MURASE)と組み合わせることで計画と実績の進捗をリアルタイムに把握し、振り返ることで工場の課題を把握することができました。また、この生産実績をもとに各工程のタクトをフィードバックして適正な生産スケジュールを行えるようになりました。

システム概要

「KMS – Karimok Mieruka System –」

リライタブルRFIDかんばんをポストに入れることで、作業要領がモニタに表示されます。着手・完了時間を取り、生産実績実績や作業中の不良などを入力します。すべての工程で仕掛品とかんばんが流れて行き着手完了を取ります。生産スケジュールと連携することで、全体の進捗が工場の大モニターに表示されます。

①生産スケジュール(MURASE)



②実績収集(KMS)

③実績分析(KMS)

